報道用資料

「子宮移植に関するアンケート 2026」
グラフ集

※小数点第一位を四捨五入しているため合計は 100%にならないグラフがあります。

※本調査結果を引用する場合、下記をご記載ください。
『NPO 法人 Fine「子宮移植に関するアンケート 2026」より』

※本調査は任意回答による小規模調査です。回答者の属性にも偏りがあるため、結果はロキタンスキー症候群当事者全体の意識や実態を示すものではありません。

NPO 法人 Fine
2026 年 10 月発行

Copyright(C)2026 NPO 法人 Fine　All rights reserved.

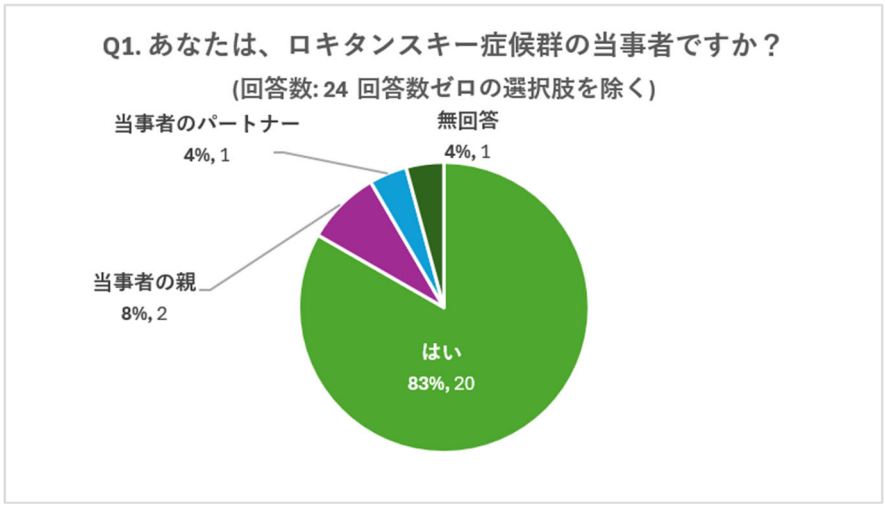

図 1

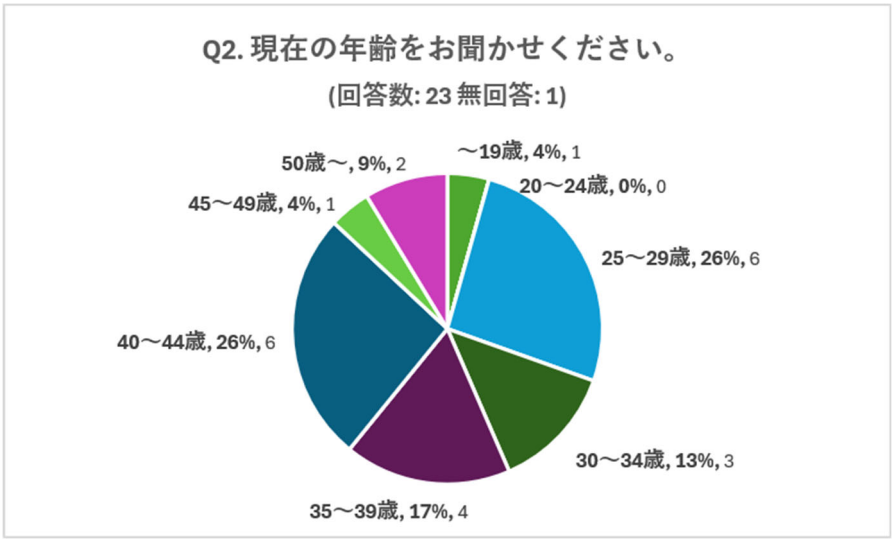

図 2

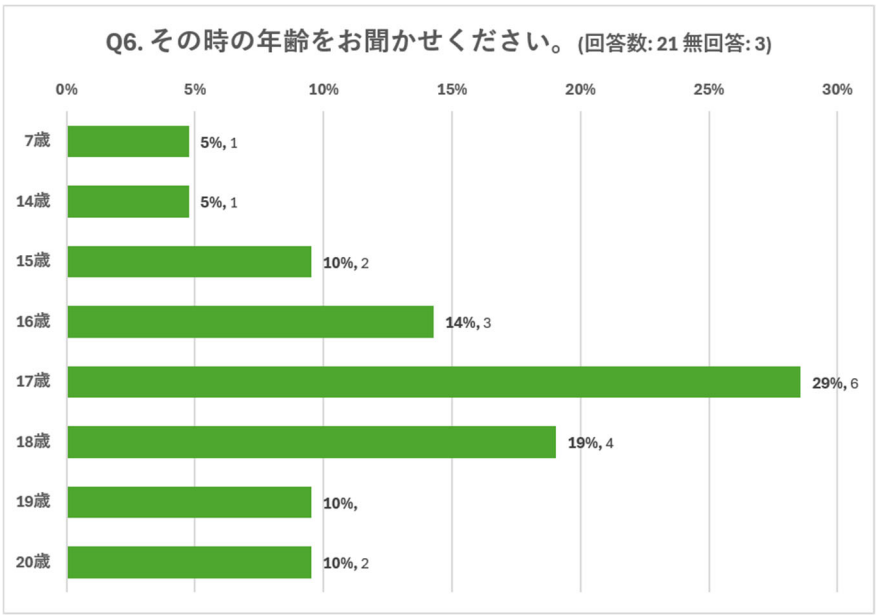

図 3

Copyright(C)2026 NPO 法人 Fine　All rights reserved.

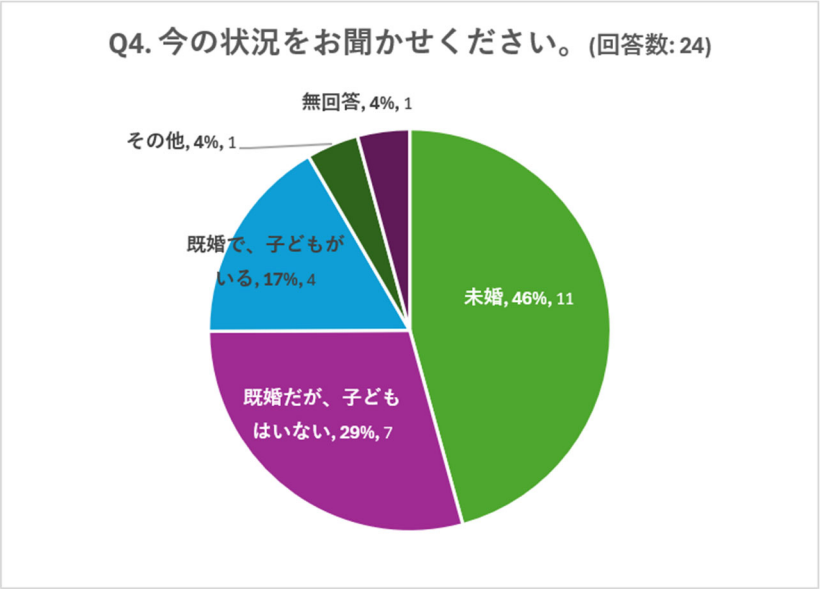

図 4

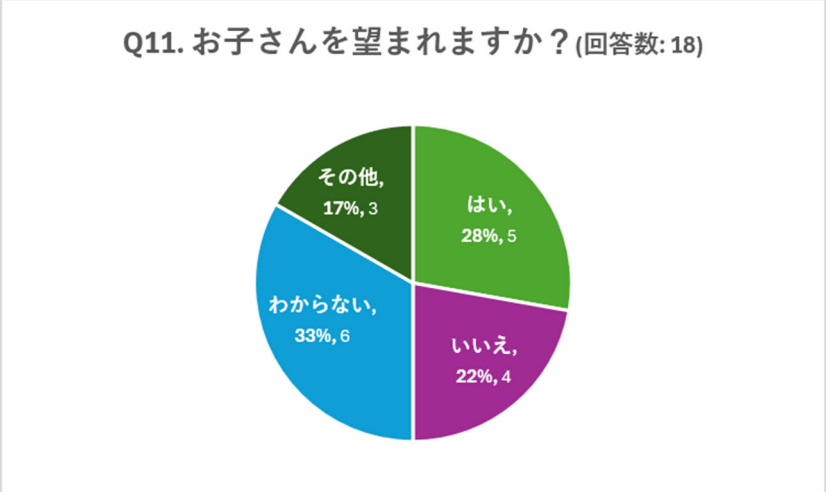

図 5

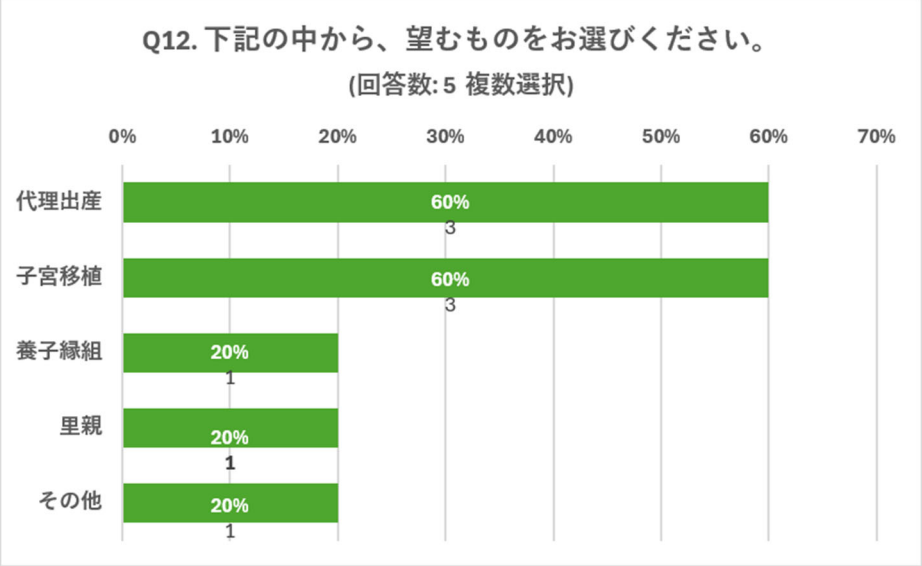

図 6

Copyright(C)2026 NPO 法人 Fine　All rights reserved.

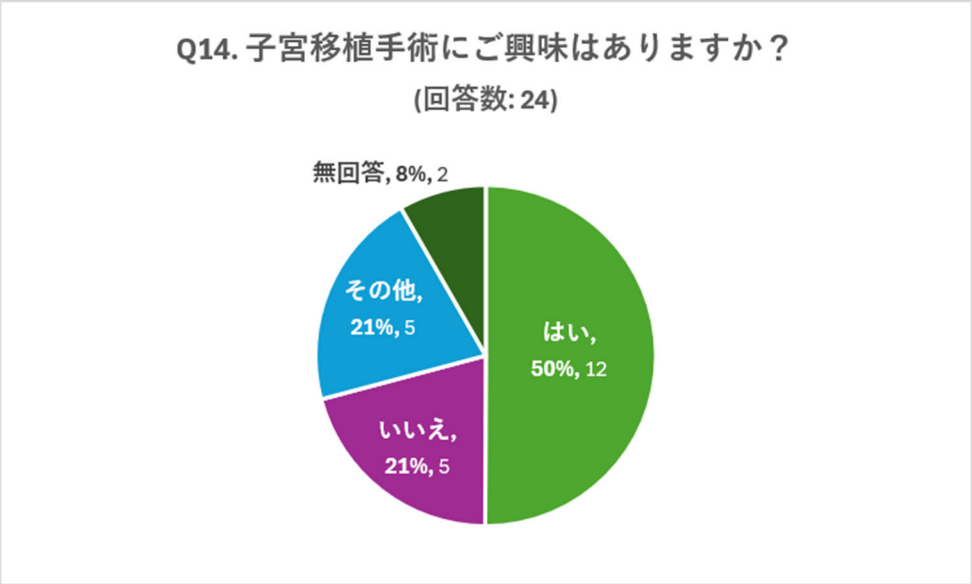

図 7

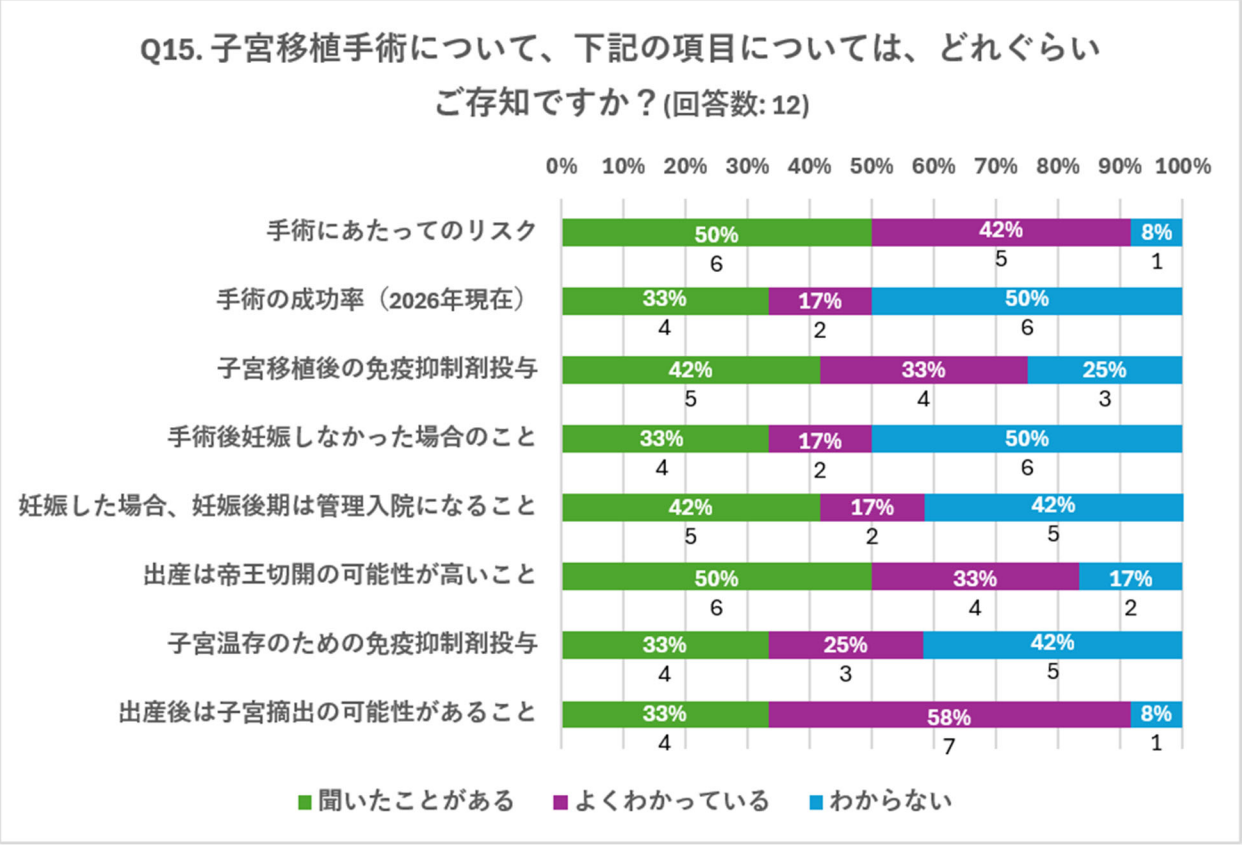

図 8

Copyright(C)2026 NPO 法人 Fine　All rights reserved.

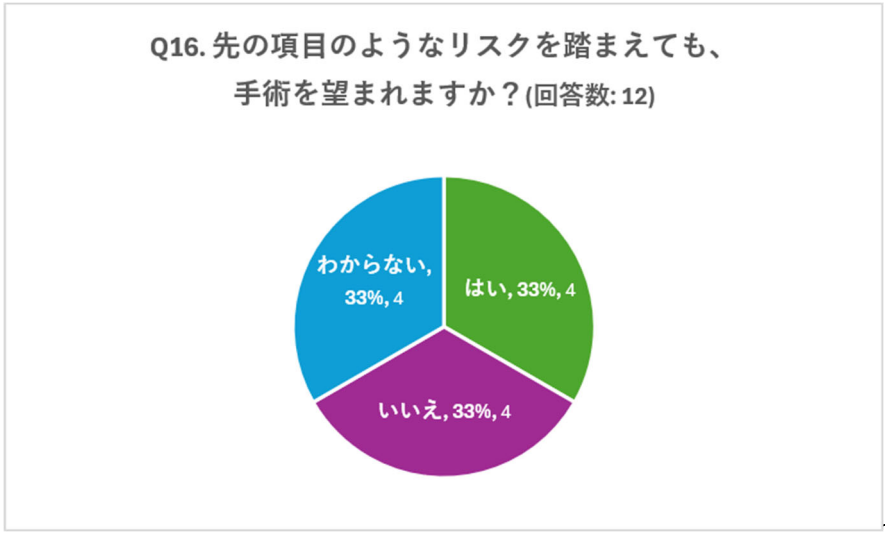

図 9

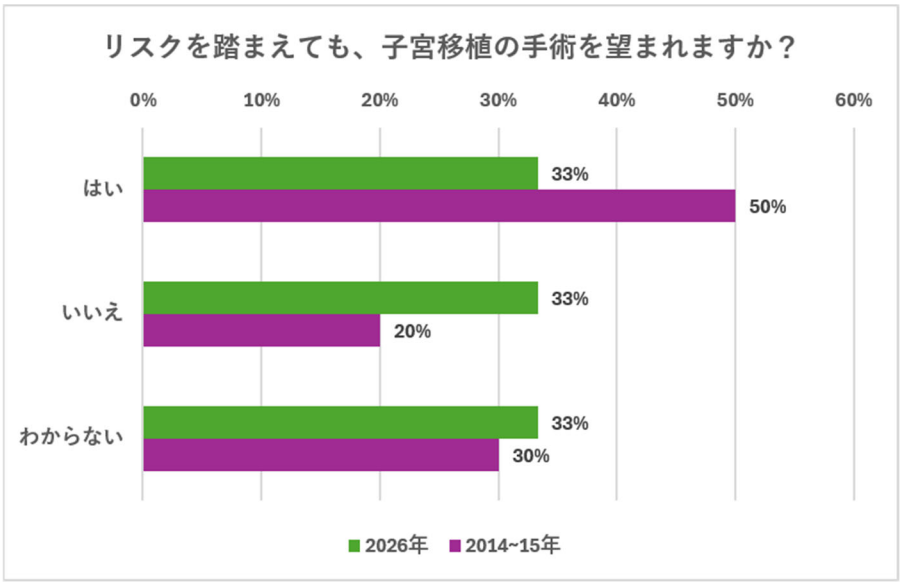

図 10

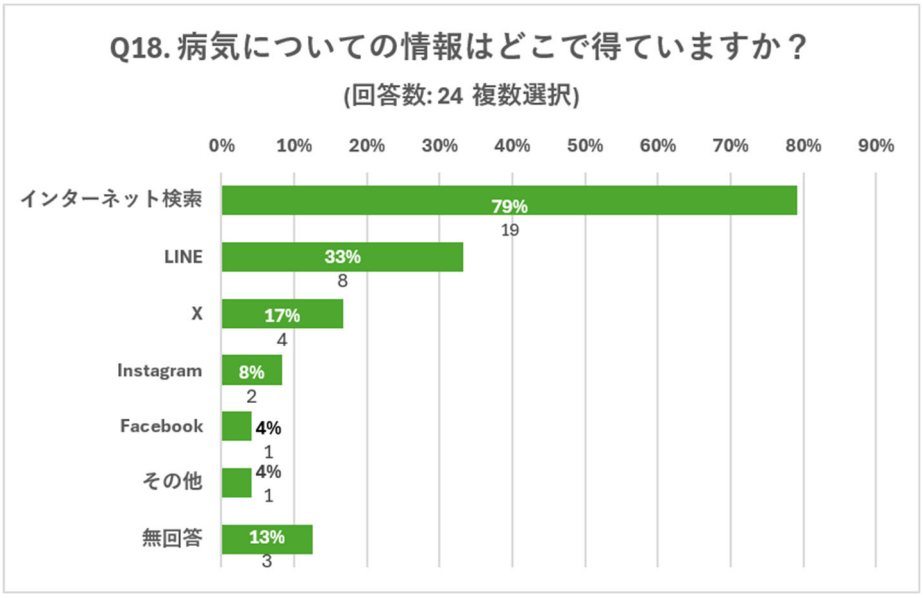

図 11

Copyright(C)2026 NPO 法人 Fine　All rights reserved.

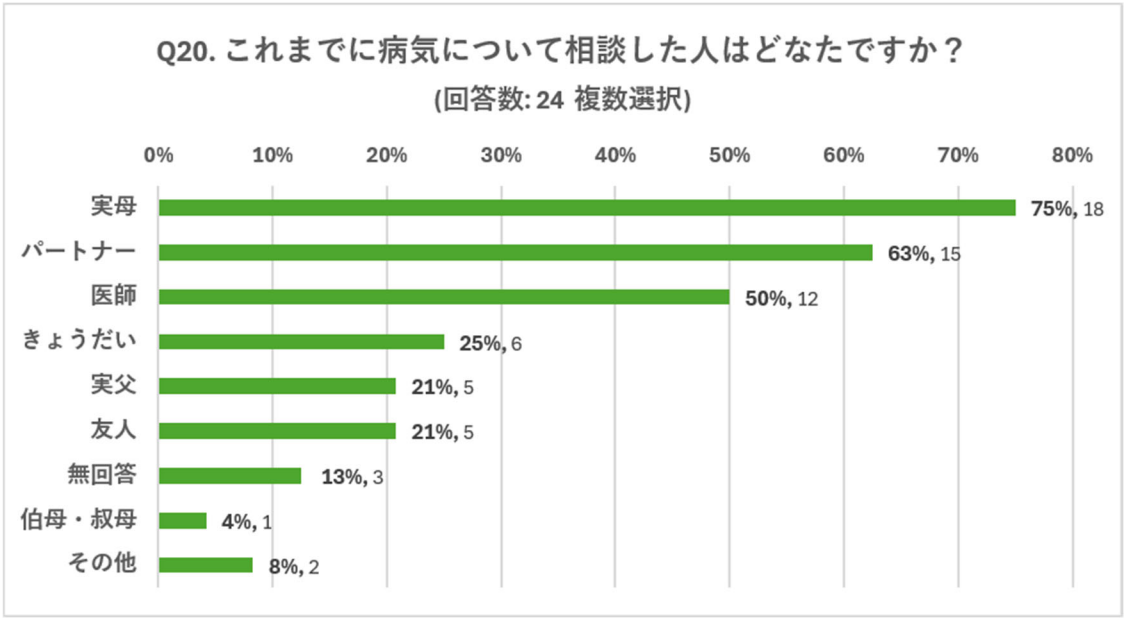

図 12

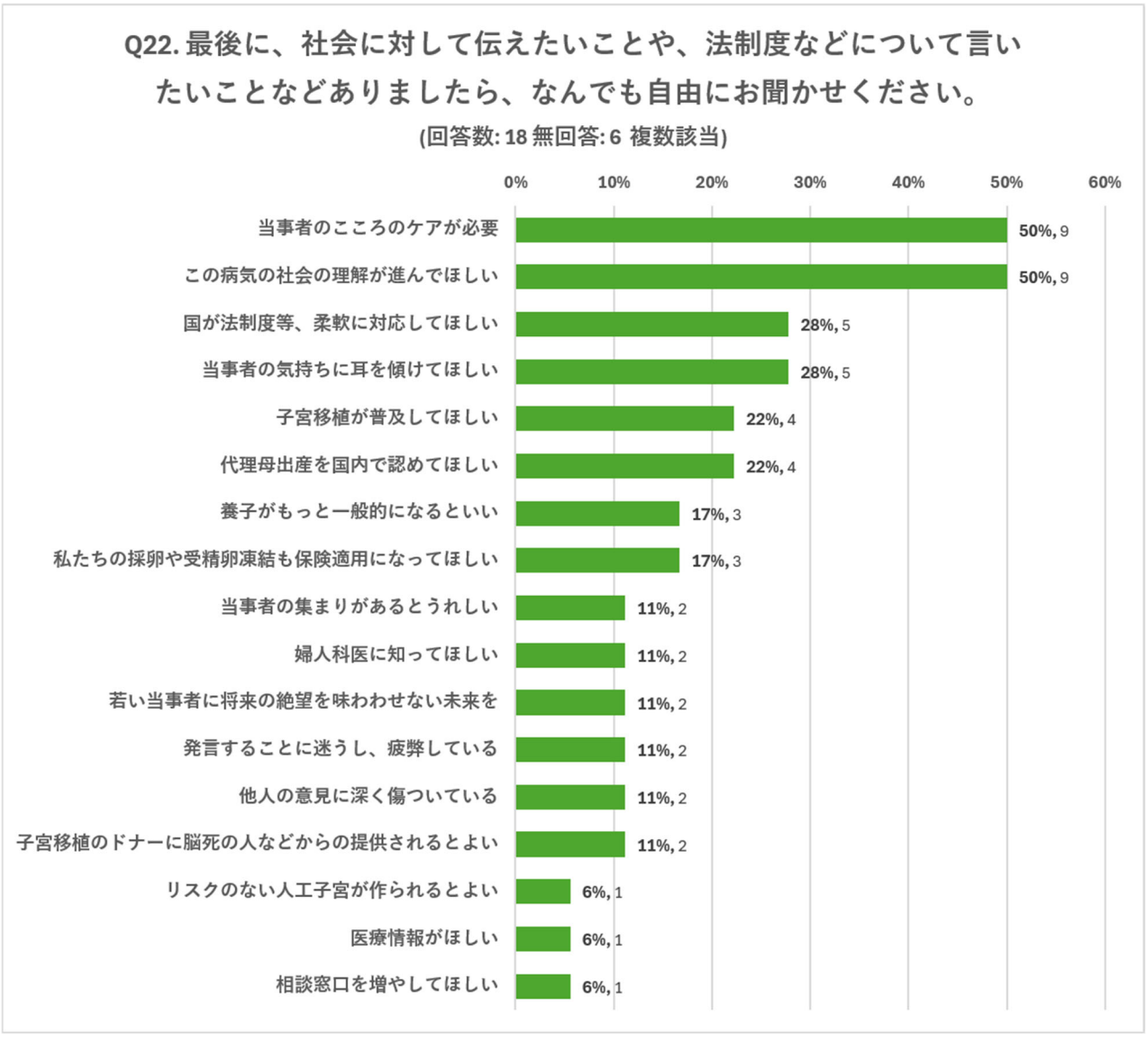

図 13

Copyright(C)2026 NPO 法人 Fine　All rights reserved.

ロキタンスキー症候群（MRKH 症候群）とは

ロキタンスキー症候群（Mayer-Rokitansky-Küster-Hauser syndrome：MRKH 症候群）は、胎生期のミュラー管の発達に関連して、子宮や膣の上部が先天的に欠損または十分に発達しない状態です。卵巣は通常、構造・機能ともに保たれ、外見上の女性の二次性徴も一般的にみられます。このため、多くは思春期になっても月経が始まらない「原発性無月経」をきっかけに診断されます。発生頻度は女性 4,500～5,000 人に 1 人程度と報告されています。米国産婦人科学会（ACOG）は、診断時の心理的影響を軽視すべきではなく、心理社会的な支援やピアサポートにつながることが重要としています(※1)。

※1 American College of Obstetricians and Gynecologists (ACOG). Committee Opinion No. 728: Müllerian Agenesis: Diagnosis, Management, and Treatment. Obstet Gynecol. 2018. https://www.acog.org/clinical/clinical-guidance/committee-opinion/articles/2018/01/mullerian-agenesis-diagnosis-management-and-treatment

子宮移植について

子宮移植は、子宮がない、または子宮が機能しない「絶対的子宮性不妊（AUFI）」の人が、自ら妊娠・出産する可能性を得るために研究・臨床応用が進められている移植医療です。2014 年 9 月、スウェーデンで移植子宮による世界初の生児出生が報告されました(※2)。2025 年の総説では、世界で 130 例を超える子宮移植が行われ、70 人を超える子どもが誕生したと報告されています(※3)。

※2 University of Gothenburg. World's first child born after uterus transplantation. Published October 3, 2014. https://www.gu.se/en/news/worlds-first-child-born-after-uterus-transplantation

※3 Brännström M. A decade of human uterus transplantation. Acta Obstet Gynecol Scand. 2025;104(3):434-436. doi:10.1111/aogs.15080. https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/39968606/

調査概要

- 調査目的：ロキタンスキー症候群当事者等の生活上の思い、家族形成への考え、子宮移植への意識、情報・相談環境の現状を把握し、必要な支援や社会的課題を考えるため
- 調査期間：2026年7月9日～8月15日
- 調査方法：WEB アンケート。自由回答を含む全 22 問
- 対象者：ロキタンスキー症候群の当事者または近親者
- 回答数：24
- 設問：https://j-fine.jp/activity/enquate/shikyu-ishoku_anketo.pdf

※本調査結果を引用する場合、下記をご記載ください。
『NPO 法人 Fine「子宮移植に関するアンケート 2026」より』

※本調査は任意回答による小規模調査です。回答者の属性にも偏りがあるため、結果はロキタンスキー症候群当事者全体の意識や実態を示すものではありません。

～Fine 会員は約 2,800 名（2026 年 10 月現在）～
特定非営利活動法人 Fine（Fertility Information Network =ファイン）　https://j-fine.jp/
〒150-0041　東京都渋谷区神南 1 丁目 11-4　5 階　TEL　03-5665-1605　FAX　03-5665-1606
＊常駐ではありませんので、できるだけメールにてお問い合わせいただければ幸いです
E-mail◆Fine 広報窓口：finekouhou@j-fine.jp

Copyright(C)2026 NPO 法人 Fine　All rights reserved.